

令和9年度奥州市地域おこし協力隊募集要領

【奥州湖周辺エリアのアウトドアアクティビティを活性化する新たなプレイヤー
～オープンポジション（提案型）～を募集します】

I 募集の背景

1 活動地域の紹介

本市は、西部に奥羽山脈・焼石連邦の優れた山岳景観と、東部に物見山を中心とした種山高原などのなだらかな稜線からなる北上高地の山々に挟まれており、中央部には胆沢川によって形成された胆沢扇状地を主とする胆沢平野の広大な田園地帯が広がる、自然豊かな地域です。

奥州湖周辺エリアは、胆沢ダム（奥州湖）を中心に、観光・スポーツの拠点施設「奥州湖交流館（Oshu Lake Glocal Center）」や宿泊・温浴施設「焼石クアパークひめかゆ」、カヌー、SUPやラフティングなどの体験の場となっている「胆沢川」や「馬留池」、花の百名山として登山客でにぎわう「焼石岳」など観光資源が集中しているエリアです。また、紅葉の名所としても人気があり「焼石連邦ビーチライン」や「栗駒焼石ほっとライン」に多くの観光客が訪れます。このような恵まれた地域資源を生かすべく奥州湖周辺エリアを拠点にアウトドアアクティビティを快適に楽しめる環境を整備し、アウトドアツーリズムによる地域経済の活性化を目指し令和6年3月に「奥州湖周辺エリア活用整備構想（以下、「構想」という）」を策定しました。

構想を推進する上で必要な新たなプレイヤーを、奥州市地域おこし協力隊設置要綱（平成27年6月17日告示第106号、以下「要綱」という）に基づき、募集します。

2 アクセス

奥州市は岩手県南部に位置し、北は北上市・西和賀町・金ケ崎町・花巻市、南は一関市・平泉町、東は遠野市・住田町、西は秋田県に接しています。東北6県の県庁所在地へは車で3時間以内と、まさに「東北のど真ん中」に位置しています。

岩手県庁所在地の盛岡市へは、東北新幹線で最速27分、仙台市へは最速40分です。

◆奥州湖交流館までのアクセス

東北新幹線水沢江刺駅から車で35分（24km）

JR東北本線水沢駅から車で27分（20km）

東北自動車道水沢ICから車で30分（23km）

東北自動車道奥州スマートICから車で30分（23km）

3 求める人材・役割

奥州湖周辺エリアのアウトドアアクティビティを活性化するため、次のような人材を募集します。すべてを満たす必要はありません。

ご自身の経験や関心にあわせて、「自分はどの役割を、どんな肩書きで担うのか」を、応募時に提案してください。

【求める姿勢】

- ・地域の事業者や住民と対話しながら、一緒に考え、形にできる方
- ・活動を「事業」として成り立たせ、卒業後も奥州市で起業・就業していく意思のある方
- ・自ら仕事をつくり、地域に雇用や次の担い手を生み出していきたい方

【担ってほしい役割】

- ・冬季を含めた通年で奥州湖周辺アクティビティの楽しみ方を、地域の人と一緒に考えていける方
- ・焼石岳や周辺のトレイル、サイクリングなど、陸のフィールドを活かした新しいアクティビティを開拓したい方
- ・奥州湖エリアの魅力を地域内外へ発信し、人を呼び込む活動をしたい方
- ・既存事業者と連携し、その活動を加速させる活動をしたい方

【歓迎する経験・関心】

- ・アウトドア分野でのガイド、インストラクター等の経験
- ・SNS やウェブサイト等の運用を通じて、事業やブランドの成長に貢献した経験（集客、販売、ファンづくりなど）
- ・デジタルツールや AI を活用して、業務の効率化や新しい取組みを進めた経験
- ・観光産業に携わっていた経験
- ・大学・専門学校で観光学を履修した経験

Ⅱ 隊員の募集

1 募集内容

- (1) 募集人数 2 名
- (2) 雇用形態 奥州市地域おこし協力隊として令和 9 年 4 月 1 日から委嘱します。
市と雇用関係はなく、個人事業主としての活動となり、隊員が奥州湖周辺エリア活用整備構想推進を図るために行う活動について、市と地域支援業務委託契約を締結します。
- (3) 任期 委嘱期間は、年度ごとに更新し、最大 3 年間です。ただし、地域おこし協力隊としてふさわしくないと判断した場合、委嘱期間であってもその委嘱を解くことがあります。
- (4) 勤務地 奥州湖周辺エリア（奥州市胆沢若柳地内）

2 募集条件（必須）

- (1) 現在、3 大都市圏をはじめとする都市地域（過疎、山村、離島、半島等の地域に該当しない市町村）等に在住しており、委嘱後に奥州市へ住民登録することができる方
- (2) 任期終了後も奥州市に居住する意向のある方
- (3) 地方公務員法（昭和 25 年法律第 261 号）第 16 条に規定する欠格事由に該当しない方
- (4) 普通自動車運転免許を有し、又は取得予定であり、隊員活動に使用できる車両を所有、又は準備することができる方
- (5) パソコンの一般的な操作及び SNS の活用ができる方

3 待遇等

- (1) 委託料
 - ① 月額 291,600 円（個人事業主のため時間外勤務手当、昇給、賞与等はなし）
 - ② その他活動に要する経費として、市との協議により予算の範囲内（令和 8 年度予算額 900,000 円/年）で助成します
- (2) 活動日・活動時間
担当部署、関係団体と協議のうえ活動日・活動時間を決定（月 120 時間程度を活動の目安とします）
- (3) その他
 - ① 家賃を補助します（家賃の 1/2 以内で、月額 30,000 円を上限）
 - ② 活動中の傷害保険に加入します（市負担）
 - ③ 次の経費は、自己負担とします
 - ・転居に要する費用
 - ・社会保険料（国民健康保険、国民年金）

- ・自動車取得、維持に要する費用
- ④ 活動の支障にならない範囲で隊員の活動以外の副業を可能とします（別途、報告を求める）。

Ⅲ選考手続き等

1 第1次選考

- (1) 選考方法 書類審査
- (2) 応募方法 市が設置する応募フォームへの入力（紙媒体の提出はありません。）
(URL <https://logoform.jp/form/cAjx/1777110>)
応募フォームへ入力し、エントリーが完了した時点で応募手続きが完了となります。
- (3) 結果通知 応募受付終了後、書類選考を行い、可否の結果を書面で通知します。
- (4) そ の 他 提出されたすべての応募書類等は返却しません。

2 第2次選考【最終審査】

- (1) 選考方法 面接審査（奥州市内で対面個別面接）
- (2) 提出書類 現住所の住民票（1ヶ月以内のもの）
普通自動車運転免許証の写し（表面・裏面）
- (3) 結果通知 可否の結果を書面で通知します。
- (4) そ の 他 受験のために必要な交通費等は、個人負担とします。

3 申込受付期間

公開日～令和8年12月21日（月）午後5時まで

4 募集に関する問い合わせ先

一般社団法人いわて圏（令和8年度奥州市地域おこし協力隊募集業務受託者）
E-mail contact@iwatearea.com
TEL 080-9635-4751（平日の午前9時から午後6時の時間で受け付けます。）

Ⅳ 活動内容

1 業務の概要

本募集は、担っていただく役割をあらかじめ一つに限定しない「オープンポジション（提案型）」です。全員に共通する活動を土台としながら、そのうえで「自分の柱となる活動」を提案し、3年間かけて事業として育てていただきます。未経験の分野があっても構いません。この地域で学び、身につけていける方を歓迎します。

(1) 共通の活動

① 地域を知り、現場を体験する

カヌー、SUP、ラフティング、胆沢ダム堤体登山など、奥州湖周辺ですでに行われているアクティビティに、地域の事業者とともに参加します。

現場に入って技術や安全管理を学びながら、この地域に何があり、何が足りないのかを、自分の目で確かめていただきます。

② 地域の事業者・関係者との関係をつくる

奥州市アウトドアツーリズム推進協議会をはじめとする事業者、施設、行政と関わりながら、活動の土台となる関係を築きます。

既存の事業者と競い合うのではなく、互いに補い合い、エリア全体が良くなる形を一緒に探っ

ていただきます。

③ 奥州湖周辺エリアの魅力を発信する

エリアの認知度向上に向けた発信や、訪れた方の受け入れに関わります。

(2) 提案していただく活動 ※あなた自身の柱となる活動です

共通の活動を通じて見えてきた課題や可能性をもとに、ご自身が主体となって取り組む活動を組み立て、事業化を目指します。たとえば、次のような領域が考えられます。

・ 通年で楽しめる環境をつくる

現在のアクティビティは夏季に集中しています。冬季やその前後を含め、一年を通して人が訪れ、事業として成り立つ状態をつくります。

冬の資源を活かした企画も考えられます。

・ 陸のフィールドを開拓する

焼石岳やその周辺のトレイル、サイクリングなど、水辺以外のフィールドを活かした新しいアクティビティを立ち上げます。

・ エリアの魅力を届け、人を呼び込む

旅行事業者やメディアへの働きかけ、デジタルや AI を活用した発信や業務フローの設計など、実際に人が訪れる流れをつくります。

・ 地域の事業者をつなぎ、エリア全体の活性化に寄与する

宿泊・温浴施設とアクティビティ事業者を組み合わせた滞在プランの商品化など、個々の事業者だけでは実現しにくい連携をコーディネートし、エリア全体の収益につなげます。

※上記はあくまで例示です。ここにはない発想も歓迎します。

応募時に「自分はどの役割を、どんな肩書きで担うのか」をご提案ください。

採用後、市及び関係団体との協議のうえ、年度ごとの活動計画を作成した上で具体化していきます。

2 業務の詳細

(1) 事業開発をするためのリサーチ活動

奥州市アウトドアツーリズム推進協議会や胆沢ダム水源地域活性化協議会を始めとした地域内外の多様な団体、関係者との意見交換や既存活動への参加を通じて、奥州湖周辺エリアの地域資源、観光動向、住民ニーズなどを深く理解し、新たな事業開発に向けた情報を収集します。

(2) 新規事業の企画立案・実証実験

リサーチ結果に基づき、自分が主体となって取り組んでいきたいアウトドアアクティビティの事業計画を立案します。その計画が事業として持続可能か、どのような波及効果をもたらすかを検証するため、ブラッシュアップを繰り返しながらサービスローンチに向けた準備を行います。また、常に奥州湖周辺エリアの活性化と魅力向上という観点をもって検討を進めます。

(3) 事業の本格展開と自立に向けた支援

実証実験を経て磨き上げられた事業を本格的に展開し、卒業後の自立（収入源の確保、事業継続）を目指します。市や中間支援組織、専門家、地域の協力者と連携し、円滑な事業運営と安定したキャリア形成をサポートします。

(4) 情報発信活動

自らの活動や奥州湖周辺エリアの魅力を継続的に発信し、エリアの認知度を高めます。地域の事業者や施設と連携した発信、旅行事業者やメディアへの働きかけ、デジタルツールを活用した予約・受け入れ環境の改善など、発信にとどまらず実際に人が訪れ、地域に経済が巡る流れをつ

くることを目指します。

3 3年間のスケジュール

- (1) 1年目 地域内での関係構築、既存アクティビティ事業活動、必要な資格の取得、新規事業検討
- (2) 2年目 事業の実証実験活動、収益化に向けた検討、必要な資格の取得
- (3) 3年目 事業化に向けた本格稼働開始、改善、必要な資格の取得

4 卒隊後は、奥州湖周辺エリアで地域資源を活用した事業での起業や、関連する事業を行う地域の事業者等への就職を想定しています。

5 その他の業務

活動報告書（活動実績等のまとめ）等の書類作成や、地域おこし協力隊の活動報告会など市から依頼のあった会議や行事への参加等が発生します。地域おこし協力隊に向けた研修等に参加して、活動を充実させる基盤づくりに取り組んでください。

6 業務で関わる方・団体等の紹介

- (1) 奥州市商工観光部アクティビティ推進室
奥州湖周辺エリアの観光振興を所管する部署。推進室との連携を密にしながら活動します。
- (2) 奥州市協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
奥州市でスポーツ振興を所管する部署。奥州いさわカヌー競技場を中心にカヌー競技の普及推進を進めています。
- (3) 奥州市アウトドアツーリズム推進協議会
当該エリアで活動する宿泊、飲食、アクティビティ企業等で構成し、「奥州湖周辺エリア活用整備構想」を推進する組織。活動の連携、協力先となることを想定しています。

V その他

- 1 地域おこし協力隊としての活動期間中は、市や受入団体のほか市から委託された中間支援組織（外部委託）が隊員の活動及び生活に関する支援を行い、起業・就業までの伴走支援を行います。
- 2 毎年、確定申告の必要があるので、自身で行ってください。
- 3 この募集要領は令和9年度予算成立を条件とするため、募集内容等に変更が生じる場合があることをご理解の上、応募してください。
- 4 隊員が起業又は事業を承継する場合には、市内で起業又は事業を継承する経費を補助する制度があります（上限100万円）。
- 5 この要領に定めるもののほか必要な事項については、ホームページ等において随時公表します。